

先週の回答



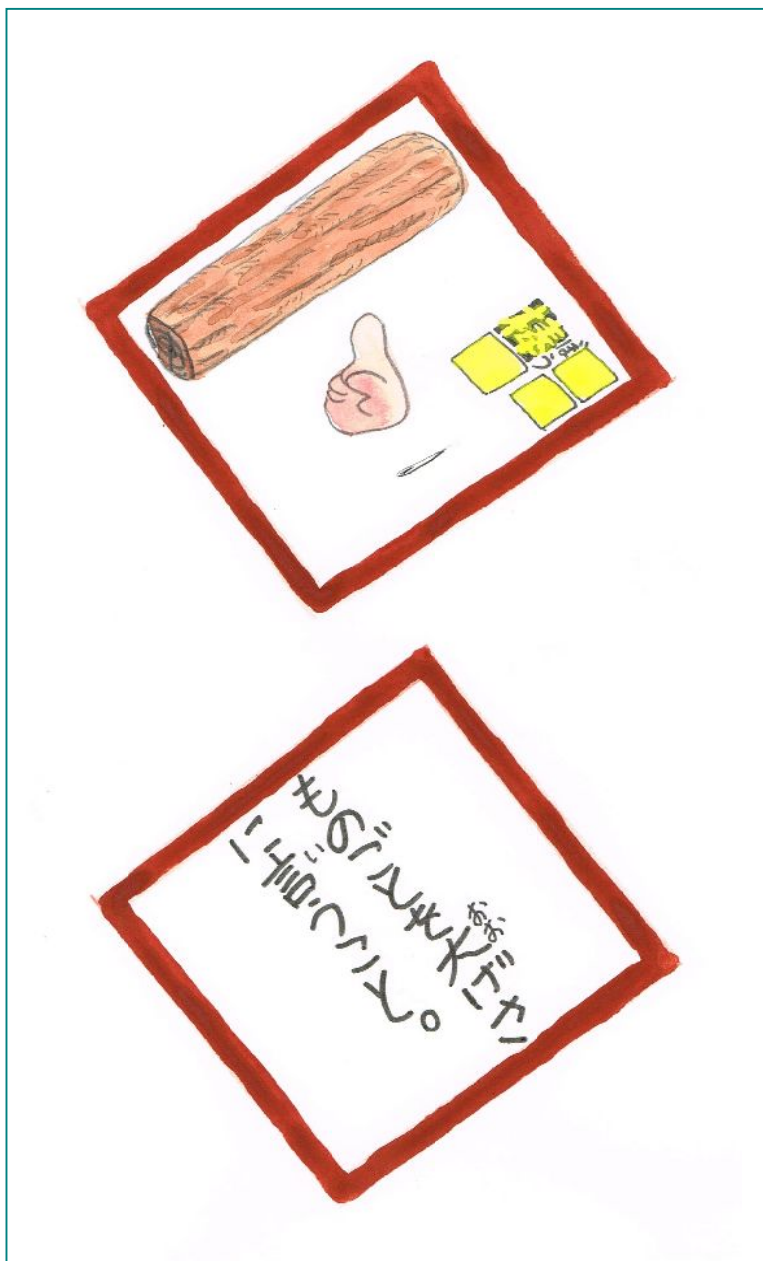
「と、おっしゃいますと、十人いれば十の色」
 「そう」
 「百人いれば百の色」
 「そう」
 「千人いれば千の色」
 「だからそうだよ」
 「すると日本人は約一億二千万人として、一億二千万の色？」
 「だからしつこいんだよ、お前は」
 「そんなに沢山の色の絵の具はありませんよ」
 「肌の色ではない」
 「と、おっしゃいますと？」
 「特色だよ、個性だよ。十人いれば十の個性がある。それを色にたとえたんだ」

「・・・？」
 「お前の学級(クラス)のみんなだって一人一人ちがうだろう？」
 「双子以外はみんなちがう顔をしています」
 「顔とか背の高さとか目にみえるものじゃなくて、性格とか好みとかが一人一人ちがうだろうと言っているんだよ、さつきから、父さんは！」
 「そういえば、みんなクラスいちの超美人の花園ヒロ子が好きだけど、山田だけは、人間は顔じゃないよココロだよって、泉ピン子が好きだって言ってたなあ・・・」
 「それだよ」
 「どれ？」
 「それが個性、特色だ。ニンジンが好きな子もいれば嫌いな子もいる。スポーツ



が苦手な子もいれば勉強が好きな子もいる。それぞれ千差万別。それが個性・特性だ」
 「だんだんわかってきました」
 「やっど？」
 「十人十色だからパパを好きになった奇特な人もいたんで結婚できたんだね」
 「そう、あたしは奇特な人だったのよ」と、久しぶりにママ登場。

今週の問題



□の中に漢字を埋めて
四字熟語を完成させてください。